

平成18年度 福祉コミュニティーセンターの管理運営に対する評価票

所管課：健康福祉部生活福祉課

評価対象期間：平成18年4月1日～平成19年3月31日

1 指定管理者

指定管理者	国際ライフパートナー株式会社（旧社名 国際警備保障神戸株式会社）
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日（3年間）
施設概要	福祉施設としての場所の提供、情報の発信地、施設の特性を生かした福祉事業の展開などを通じて、高齢者、障がい者、児童等の社会参加を促進するとともに、ボランティア活動の育成を図ることを目的とする。
指定管理料	9,982千円（3年間 28,446千円）

2 管理運営の主な内容

項目	18年度の状況
運営状況	<p>福祉施設としての場所の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設利用者に対する平等で均一なサービスを心がけるとともに、利用者団体との意見交換を心がけ業務を実施している。 <p>自主事業の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者導入以前から実施されていた事業を継続して実施 民生委員、児童委員協議会との共催で「心配ごと相談」を実施 当施設の利用団体と共催で「四條畷市地域福祉計画」の目標の一つである「地域交流ひろば」を設置 当施設で活動されている団体と協働で種々の事業を実施 <p>施設の情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページの新規立ち上げ 広報紙「コミュニティーセンターだより」を毎月発行 施設パンフレットを新規作成 <p>安全確保対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防設備の対処手順等の研修会の実施 緊急連絡網の作成
維持管理状況	<p>保守点検</p> <ul style="list-style-type: none"> 照明及び消防機器等の点検を定期的実施 「ふれあいルーム」の壁、畳等の修繕工事を実施 「第二活動室」の畳の一部入れ替えやカーテン等を設置 「シャワー室」のタイル破損箇所の修繕を実施 <p>備品の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 備品管理台帳を作成・設置。 <p>清掃業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常清掃（週5日）、定期清掃（月1回）、特別清掃（年1回）を実施 <p>警備業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 機械警備にかかるシステムの変更工事を実施 子どもが利用する部屋にカメラシステムを導入 <p>環境保全への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 空調設備の温度操作盤の管理を徹底し、電気使用量を縮減 環境負荷実態把握調査を毎月実施

利 用 状 況	<p>前年度と比較し、延べ利用団体数は、17年度の1,397件から1,059件と約24%減少した。主な原因は、高校生によるボランティア活動が卒業により解散となったため。</p> <p>利用人数については、前年度の実績がないため比較ができなかった。</p>
収 支 状 況	<p>収支報告では、自主事業収入が248,123円となっているが、このうち200,000円が、同居していた社会福祉協議会からの光熱水費としての収入であり、48,123円は、自動販売機の収入である。これらの収入については、全て施設の補修費に充てた。</p> <p>市の支出としては、前年度と比較し14%の縮減となった。</p>

3 利用者へのアンケート調査

項 目	18年度の状況
調査の実施内容	<p>対 象 : 全施設利用団体 調査期間 : 平成18年12月～平成19年1月 調査方法 : 各団体にアンケート用紙を手渡し 回答件数 : 利用団体50団体のうち44団体</p>
調査の結果	<p>施設利用の感想:「満足」、「やや満足」が約77% 「やや不満」が2件、「不満」は0件であった。 施設利用の頻度:「1ヶ月に1回以上」が約79%</p>
主な要望・意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・市民にとってなくてはならない施設(8件) ・2階までのエレベーターがほしい(4件) ・指定管理会社が入って気持ちよく利用できるようになった(3件) ・開館時間を早くしてほしい(2件) ・駐車場のスペースを広くしてほしい(2件) ・窓にカーテンをつけてほしい(1件)等々 計33件

4 施設の評価

管理運営の総合評価	5	4	3	2	1
講 評	<p>利用者については、高校生によるボランティア活動が卒業により解散となったため、前年度と比較して減少した。</p> <p>しかしながら、関係機関との共催で新たに「心配ごと相談」や「地域交流ひろば」を開始するとともに、ホームページの新規立ち上げや施設パンフレットの新規作成を行なうなど利用者を増加させるための取り組みは評価する。</p> <p>また、施設の維持管理については、利用者へのアンケート調査も利用しながら設備の更新に取り組むなど利用者本位の姿勢で取り組みが進められている。</p> <p>施設利用の感想も「満足」「やや満足」との回答が約8割と利用者の評価も高く、「市民にとってなくてはならない施設」との意見もあった。</p> <p>昨年度、利用者が減少した理由については一定理解できるが、今後の施設の運営管理については、より一層広報に力を注ぎ、利用者の増加につなげることが求められる。特に、午後9時30分まで開館している施設の特徴を生かし、利用者の少ない夜間時間帯への利用を促すことが必要である。</p> <p>また、経費の節減に努め、新たな事業展開に生かすことも期待される。</p>				

(参考) 評価の基準

- 5 計画内容を上回る(非常に満足できる)結果
- 4 計画内容をやや上回る(満足できる)結果
- 3 計画内容どおりの(妥当と判断する)結果
- 2 計画内容をやや下回る(不満が残る)結果
- 1 計画内容を下回る(非常に不満が残る)結果